

2008年度

JSAF 和歌山インターナショナルレガッタ (Sail WAKAYAMA) 同時開催 2009年度ナショナルチーム選考(470級、RS-X級)、和歌山コールドカップ 470級ジュニアワールド日本代表選考、スナイプ級全日本ジュニア選手権

レース公示 (Notice of Race)

1. 主催団体

共同主催

財団法人日本セーリング連盟 (JSAF 承認番号 H-20 56)

和歌県セーリング連盟、NPO法人和歌山セーリングクラブ

後援

日本470クラス協会、日本ウインドサーフィン連盟、日本スナイプクラス協会

和歌山県、社団法人和歌山県体育協会・和歌山県教育委員会

和歌山市、和歌山市体育協会・和歌山市教育委員会

和歌山放送、テレビ和歌山

協賛

※未定

2. 規則

2.1 2009-2012 セーリング競技規則 (以下 RRS とする) 定義された「規則」。

2.2 RRS 付則 P を適用する。

2.3 OPクラスについては、RRS 61.1(a)の「(2) 艇体の長さが6メートル未満の艇は、赤色旗を掲揚する必要はない。」を削除し適用する。抗議用の赤色旗を用意すること。

2.4 クラスルールと帆走指示書で矛盾する点は、帆走指示書の記載事項を優先適用する。

3. 広告 主催者広告を予定しており、受付時までに主催者広告の要求があった場合、期間中提示しなければならない

4. 競技種目

・男女 470級

・スナイプ級ジュニア (U-22)

・男女 RS : X級

・男女 OP級

5. 参加資格

5.1 2008年度日本セーリング連盟会員の者。

5.2 ≪470級、RS : X級、≫

470級、RS:X級の日本選手は当該艇種別協会会員登録済の者で、(財)日本セーリング連盟、艇種別協会、都道府県セーリング(ヨット)連盟のいずれかの推薦を受けた者。

≪スナイプ級≫

2009年スナイプ協会会員登録済みの者のうち2009年12月31日時点で22歳未満の者

5.3 5.1および5.2については日本国籍者のみに適用する

6. 参加申込

所定の参加申込書で、2009年1月31日までに必着で、eメール、FAXにて申し込むこと。

なお、サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付で行うこと。

申込み先

ナショナルトレーニングセンター (和歌山セーリングセンター)

TEL 073-448-0251

FAX 073-494-3252

Mail info@wakayama-sailing.org

7. 参加料

7.1 470級 15,000円、470級ジュニア 12,000円、スナイプ級 10,000円、RS:X級 10,000円

【振込先】三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 (普) 1192461

(財)日本セーリング連盟

【振込期日】2009年1月31日 ***振込の際は必ずスキッパー名で振込の事**

7.2 OP級 5,000円

※参加料は大会受付で原則としてクラブ単位で徴収する。

8 競技日程

《470級》

2月11日

10:00~17:00 大会受付、大会計測

17:00 開会式・艇長会議

2月12~15日

09:25 各日とも3レースを予定、12レースまでとする。
その日の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行う。
なお最終日は14:00以降に予告信号が発せられることはない。
閉会式・表彰式の時間は公式掲示板に掲示する。

《RS:X級》

2月12日

10:00~17:00 大会受付、大会計測

17:00 開会式・艇長会議

2月13~15日

09:25 各日とも3レースを予定、9レースまでとする
その日の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行う。
なお最終日は14:00以降に予告信号が発せられることはない。
閉会式・表彰式の時間は公式掲示板に掲示する。

《スナイプ級》

2月12日

10:00~17:00 大会受付、大会計測

17:00 開会式・艇長会議

2月13~15日

09:25 各日とも3レースを予定、9レースまでとする
その日の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行う。
なお最終日は14:00以降に予告信号が発せられることはない。
閉会式・表彰式の時間は公式掲示板に掲示する。

《OP級》

2月14日

08:30~09:00 大会受付（~09:00）

09:00 開会式・艇長会議

10:25 1日目第1レース予告信号、引き続きレースを行う。

2月15日

9:30 2日目最初のレースの予告信号、引き続きレースを行う。
なお14:10以降に予告信号が発せられることはない。
本大会は7レースまでとする
閉会式・表彰式の時間は公式掲示板に掲示する。

*海上での昼食を予定しているので、各自で用意のこと。

9. 計測

- 9.1 参加艇は、計測証明書を受付時に提示すること。但し、OP級は除く
- 9.2 セールは、事前にオフィシャルメジャーラーによる計測を受けていなければならない。
- 9.3 大会期間中、陸上や海上でインスペクションを行うことがある。

10. 帆走指示書

大会受付時に配布する。

11. 開催地

和歌山市和歌山マリーナシティ「ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）」及び和歌浦湾

添付1図にレースエリアの場所を示す。

12. コース

コースはトラベジイドコースまたはソーセージコースのいずれかとする。

13. 得点

- 13.1 RRS付則Aの低得点方式を適用する。
但し、スナイプ級はスナイプ級低得点方式を採用する。（スナイプクラスルール）
- 13.2 470級は12レースを予定し、大会が成立する為には各種目それぞれ5レース以上成立することが必要である。

RS : X級及びスナイプ級は9レースを予定し、大会が成立する為にはRS : X級は5レース、スナイプ級は3レース以上成立することが必要である。

OP級は7レースを予定し、大会が成立する為には1レース以上成立することが必要である。

- 13.3 各クラスとも5レース以上が完了した場合は、その艇の最も悪い得点を除外する。(表現を変える必要がありますか?)

14. 安全

- 14.1 海上では常に適当な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは、適当な個人用浮力体と見なさない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これによりRRS40を変更する。

- 14.2 OP級は、クラス規則の4.2(a)、4.2(b)、4.3(a)、4.3(b)および3.3.4に加えて、各艇にはブレードの面積が0.025 m²以上のパドルを確実に取り付け、選手は笛を救命胴衣にラニヤードで付けなければならない。この指示に従わなかった選手は、この違反が認められた各レースの得点から5点加算のペナルティーを受ける。

15. 支援艇

- 15.1 サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。

- 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇、および定員の半数を超える乗艇は認められない。
- 常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
- ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、個人またはクラブ単位で行うこと。
- サポートボートは、ヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険)に加入していなければならない。

- 15.2 運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は、運行の停止を命じることがある。

- 15.3 海上でレース委員会からサポートボートへの支援要請は、運営艇に『ピンク色』旗を掲揚して通告する。

16. 賞

- 16-1 各クラス参加艇数に応じてメダルもしくは盾を授与する。

- 16-2 本大会で以下の選考を行う

1. 470級、RS:X級2009年ナショナルチーム選考

本体会参加の470級男女およびRS:X級男女の内、日本国籍者については2009年度ナショナルチームを本大会の上位から以下の艇数認定する

470級男子：3艇6名

470級女子：3艇6名

RS : X級男子：3艇3名

RS : X級女子：3艇3名

2. RS:X級 世界選手権日本代表選手選考

2009世界選手権の出場資格を本大会の成績上位者から与える

その権利を辞退した場合、最終成績順に順次繰り下げとする

2009年度内のその他の参加資格、補助等の優先順位も本大会の成績順とする

3. 470級ジュニアワールド選手権日本代表選手選考

本大会参加の470級男女の内、日本国籍者で、22歳未満選手(1988年1月1日以降に生まれた者)の内、上位成績者から男子2艇、女子1艇を2009年470ジュニアワールド日本代表選手として認定する。

4. スナイプ級ジュニアワールド選手権日本代表選手選考

スナイプ級にて本大会参加者の内、上位2艇のヘルムスマンに2009年スナイプ級ジュニア世界選手権(2009年8月 アメリカ、サンディエゴ)の参加資格を与える。

17. 免責及び保険

- 17.1 本選考会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS4参照。

- 17.2 本選考会の主催団体等は、本大会の前後および期間中に発生した人的事故(傷害・死亡等)

- ならびに物的事故（損傷・盗難等）について、その責任を一切負わないものとする。
- 17.3 470級及びRS:X級の参加選手は自己及び第三者への賠償を補償できる保険に加入し、大会受付時に保険証券（写し可）を持参しなければならない。
18. その他
本大会はドーピング検査対象大会とする。
470級及びRS:X級の公用語は、英語とする。
OP級及びスナイプ級の公用語は、日本語とする。
19. 大会事務局
ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）
〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地
TEL 073-448-0251 FAX 073-494-3252
Mail info@wakayama-sailing.org
大会WEBサイト（和歌山セーリングクラブホームページ内）
<http://www.wakayama-sailing.org>
和歌山セーリングセンター 営業時間9:00～17:00 火曜日定休日

以下はNORに含まれない参考情報である。

A1. 艇の搬入搬出

競技艇の搬入は、2009年2月7日（土）8:00から
搬出は2月15日（日）18:00まで
また、参加者以外の車は駐車料金（1日500円）が必要。

A2. チャーター艇

原則としてチャーター艇は用意しない。但しOP級についてはNPO和歌山セーリングクラブ所有艇をチャーター艇として準備する予定。
チャーター艇等について希望する場合は大会事務局に連絡をすること。

A3. 運営の協力

大会運営にご協力いただける方は参加申込時にお知らせ下さい。調整の上、レース委員会からレース委員を委嘱します。

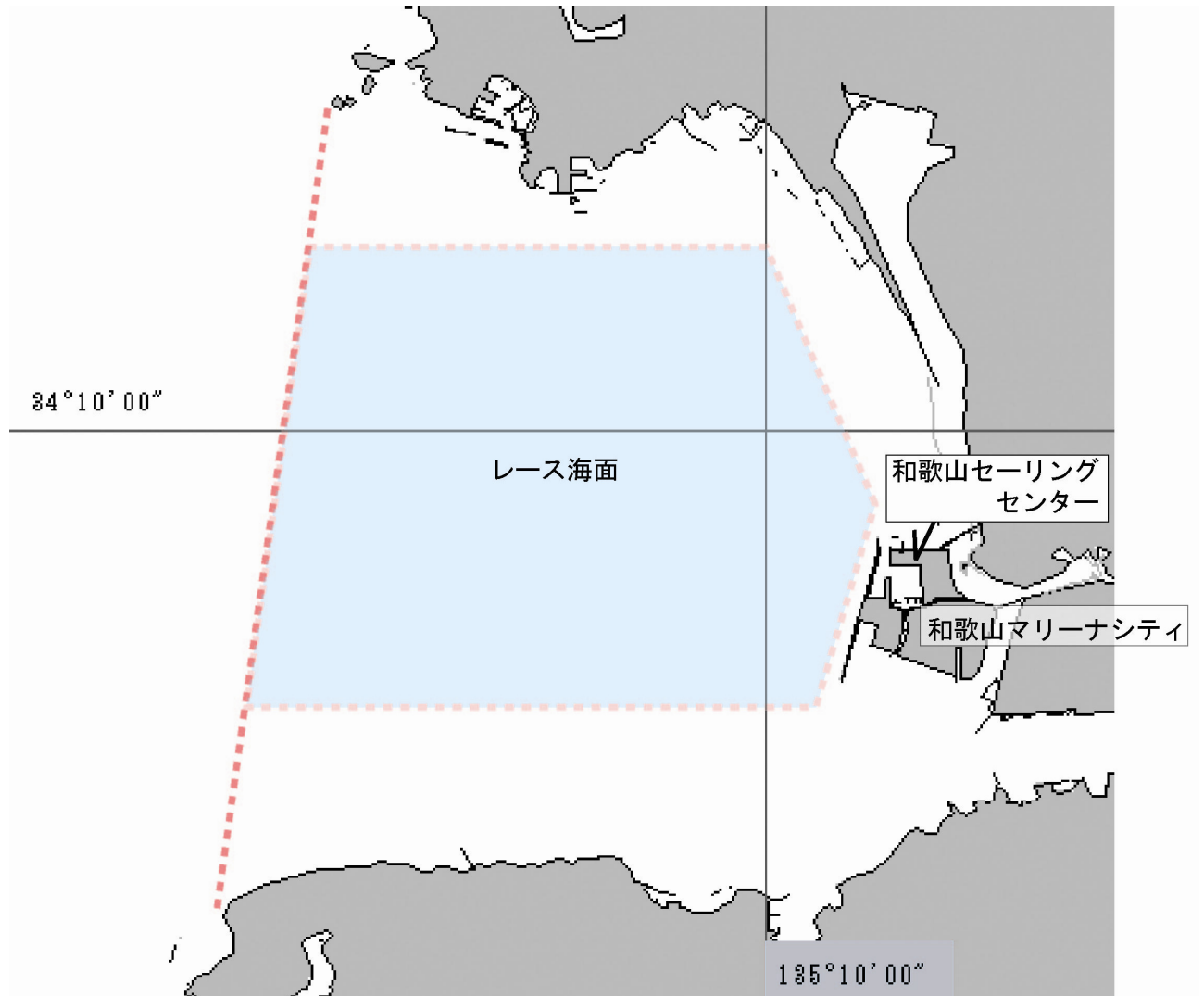
A4. 宿舎の案内

- 1) 宿泊先は各自が手配すること（大会事務局にて紹介可能です。詳しくは大会事務局までご連絡下さい）。また、会場外での連絡を確保するため、宿泊先、及び引率責任者の連絡用携帯電話番号を事務局に届け出て下さい。
- 2) 選手は健康保険証を持参すること。
- 3) 昼食は用意されないので各自用意すること。
- 4) 近隣の宿泊施設情報
 - a. 和歌山マリーナシティ・ロイヤルパインズホテル 073-448-1111
<http://www.marinacity.com/hotel/> マリーナから徒歩すぐ
 - b. 紀三井寺ガーデンホテルはやし 073-444-1004
<http://www.kimiideragardenhotel.com/> マリーナから車で5分
 - c. ビジネスホテル圭（ます） 073-447-2034 マリーナから車で5分
 - d. 新和歌ロッジ 073-444-9000 マリーナから車で10分



本事業はスポーツ振興基金の助成を受けて行われます

添付 1図「レースエリア」



**2008年度
JSAF 和歌山インターナショナルレガッタ (Sail WAKAYAMA)
同時開催 和歌山コールドカップ
参加申込書**

私は以下の事項を誓約し、参加を申し込みます。

<誓約事項>

1. セーリング競技規則および本大会に適用されるその他すべての規則、並びにハーバー施設等の利用上の諸注意事項を遵守すること。
2. 本大会の主催者、主管者、レース委員会、及びこれらに所属する個人に対し、本大会開催に関して発生した人的、物的損害について賠償請求を行わないこと。
3. 自己の過失によって第三者に与えた損害については、責任をもって賠償すること。

スキッパー署名 _____

参加クラス		セールナンバー	
所属クラブ		推薦団体名	

	スキッパー		クルー			
氏名						
フリガナ		男・女		男・女		
生年月日	19 年	月	日 (歳)	19 年	月	日 (歳)
自宅住所						
自宅TEL						
携帯TEL						
勤務先又は学校名						
連絡先FAX						
メールアドレス						
所属クラブ						
JSAF会員番号						
クラス協会会員番号						
U-19のみ親権者の署名・捺印						

以下、必ず記入のこと

・外部からの艇の搬入 有 ・ 無 _____

・有の場合 搬入予定日 _____ 月 _____ 日 (_____ 曜) _____ 時頃

サポート艇搬入有無	あり ・ なし 全長 _____ M エンジン _____ 馬力
サポート艇有りの場合	船名： 運航責任者名： 連絡先（携帯）：